

# 「市民と議会をつなぐ意見交換会」 報告書

開催日時	令和元年11月20日(水)  18時00分から20時03分	参加団体	三原商工会議所 三原商栄会連合会 三原青年会議所 広島経済同友会三原支部 一般社団法人 三原観光協会 株式会社 まちづくり三原 株式会社フジトラベルサービス 土生商船 株式会社
開催場所	三原市議会議事堂(委員会室)	参加人数	23人 (参加団体13人, 一般参加10人)
出席議員	委員長 宮垣秀正 副委員長 高原伸一 田中裕規 岡富雄 高木武子 加村博志 梅本秀明 分野達見		

## テーマ「中心市街地を活用した三原の観光戦略」 ～三原の中心部への観光客増加の方策について～ ( 経済建設委員会)

聴取した質問・意見・要望など	議員の意見・回答など
<p>観光振興の取り組みをそれぞれの団体がバラバラに行っている印象があるため、それぞれが戦略を理解しそれを取りまとめる必要がある。また、各種イベントの目的が薄くなっており、賑わい創出ができていない。中心市街地活性化は中心部に都市機能を作っていくことであり、戦略が明確になっている。観光を課題と考えるなら、まちづくりから考えていかなければいけない。</p>	
<p>市民が一生懸命観光に向かって取り組んでいる姿が三原の観光を変えようと思う。観光の考えもまちづくりの考えも一緒なので、市民皆で考えて答えを出していくことが重要ではないか。観光振興にあたっては、JR、史跡、港・クルージングや三原ならではのものであるタコや多島美を活用できると思う。</p>	
<p>三原でないとどうしてもいけないという観光客に対して、宿泊や食事をしてもらいお金を落としてもらうことが、観光客を増やしていくことに繋がると思う。</p>	
<p>市の統計によると、駅前中心市街地の歩行者・自転車通行量は増えているとのことだが、実感としては増えていない。観光客受け入れ環境の整備として、中心市街地活性化基本計画に則り商店街の活性化が必要だと思う。それには、補助される側の内部保留が200万円必要だが商店街への国の支援策の活用、キャッシュレスの充実や導入のための支援、現在2年となっている新規開店店舗への更なる支援が必要である。</p>	
<p>中心市街地のエリアに含まれている城町、本町、港町等のそれぞれの街が特徴的で面白いものになり、特徴に応じたお店が入ってくると、お客さんである市民が街を回遊するようになると思う。魅力ある街や資源を発見し調査分析し、それを起爆剤としてその街に特化した形で街の魅力や顔を作る取り組みを皆で行っていくことが、中心市街地の活性化と観光の魅力の向上に繋がると思う。</p>	
<p>三原市は陸海空の交通面がそろっていて、観光施策にも多く取り組んでいるが、その取り組みが継続して発展し、連携して繋がっていると感じられない。各地域が三原市内の動きを把握し、お互いの動きを紹介しあい、人が回るような動きを作り、そうした動きを備後地域や広島県内に広げ、お互いに観光客を回していけるようになればいいと思う。</p>	

竜王山は駐車場から頂上まで遠く、高齢者や足の不自由な方からすると快適ではない。頂上に到達するまでに様々な角度から海が見える展望台があるが、見づらい景観になっておりガッカリする。佐木島にわざわざ時間を合わせなくても気軽に行けるようになりたい。また、佐木島に着いてから車が無いと回れない。これらの問題点を解消できれば、瀬戸内の島々の魅力を上げられると思う。素敵な場所をもっとブラッシュアップすることが必要だと思う。

聴取した質問・意見・要望など	議員の意見・回答など
<p>観光資源はたくさんあるので、観光の宣伝のためにSNSを活用し観光ルートをつなげ、それを上手く宣伝することが必要だと思う。また、観光と併せて、三原に来ないと買えないものを企業を絡めて皆で見つけていきたい。</p> <p>尾道と三原は観光の面で遜色ないと思っている。尾道はストーリー性があるが、三原のストーリー性は低い。先進の観光地から学ぶことで、今ある観光資源を売り込むことができるのではないか。</p> <p>観光には日帰り型と滞在型があるが、三原への観光客は圧倒的に日帰り型が多い。観光客の多い倉敷でも宿泊客は少ない。滞在型を目指すなら努力が必要だし、魅力的な観光資源や宿泊施設が必要だと思う。また、三原の魅力を発信して外部から集めるか、外部の良いものを三原に呼び込むか、どちらを目指すか考える必要もある。</p> <p>観光客の増加と言う考えから離れた方が良いと思う。地元の市民が気軽に出て来られるという考えにした方が良い。福富の道の駅には大型遊具が整備されており多くの人が訪れている。一方、竜王山へ登る竜王みはらしラインの脇には雑草や落葉だらけで危ないため、訪れづらい。まずは予算をかけて、今あるものをきれいにし、市民が訪れやすい環境整備をするべき。市民が訪れ、人だかりができれば、おのずと観光客は増えると思う。</p>	<p>観光客を受け入れる中心市街地には環境整備が一番大事だと思う。具体的には商品の多言語化、キャッシュレス化、WiFiの対応、免税店対応施設の不足が喫緊の課題である。</p> <p>また、着地型の観光コンテンツの不足、観光推進体制、情報発信の不足等を解決するためには、観光戦略の手段としてDMOの設置やそれに伴う人材の確保が必要だと思う。</p>
<p>観光客を呼び込むにあたって、誰をターゲットにして何を提供するかといった作業をすることが必要。</p> <p>例えば、道の駅のように他所から来た人が地元のものを味わい楽しむことができるような拠点を街の中心部に作ってみるのもいいかもしれない。</p>	
<p>飲食店の充実や、観光施設の環境整備、そこへの交通アクセス、市民のおもてなしの心、これらを総合的に向上させルールを決めて多くの人に来て喜んでもらい経済効果に波及させることが重要だと思う。</p>	
<p>今ある素材を誰がコーディネートするかを考えていない。コーディネータに対する支援がなく、他所から招聘するプロセスがない。また、観光商品や素材をストーリー化して深みを持たせることが必要。ゼロから販売まで誰がやるのか用意しないと、ワークショップを開きアイデアが出ても、結局前に進まない。観光推進を担える人材を用意し、戦略を立てるうえで漏れがないかチェックできる体制を作り、それらへの支援をしていくことが必要だと思う。</p> <p>今日の意見交換会で終わるのではなく、皆でできることから一緒に取り組み、まずは少人数で筋道を立てて目指すべき姿の合意形成をはかることが必要だと思う。</p>	<p>ワークショップで1つのテーマを小グループで考えていくことはいいことだと思う。やるべきことをある程度明確にすれば様々な知恵が出ると思う。来年夏からは広島と三原をつなぐ観光クルーズ船が就航するので、今回の意見交換会を契機に、乗船客が三原を回遊し楽しむ具体的な方策を継続して協議していく必要がある。</p>
<p>広島空港から台湾まで週に何便も就航しているので、台湾の高校生を三原に呼びキャンプしてもらおうのはどうだろうか。呉線に蒸気機関車を走らせたり、帝人跡地へタレントを呼んで誘客を図ってはどうか。</p>	
<p>観光をやめたらどうかという意見に対して、今後委員会で協議していく予定はあるのか。</p> <p>市長と議会が討論することは市民主導でないといけなと思う。一般市民と自由に意見交換できたらものすごくいい意見交換会になると思う。</p>	<p>天満市長就任以来、観光を三原の産業の一つとして取り組んでいる。根本的な部分については市長に対して質問したり見解を求め議会としての方向性や方針を見つけていかなければいけないと思う。</p>